

2014年2月

「物価と消費に関するアンケート」結果

暮らし向きは回復するも、半年後は悪化の見通し

消費税率引き上げ前の駆け込み購入は、3割が「家電製品」。
消費税率引き上げ後は、「外食費」「衣料費」「食料費」を節約。

「アベノミクス」効果により、株価の上昇や消費マインドの改善が進んでいる。一方、円安や光熱費の上昇に伴い食料品の値上げなどが続いており、さらに今年4月1日以降、消費税率が8%に引き上げられることが決まった。このような状況が、家計や個人消費の動向にどのような影響を及ぼしているのかを調査するため、県内の滋賀銀行店頭にご来店の女性を対象に、「2013年冬季、物価と消費に関するアンケート」調査を行い、結果についてまとめた。

【調査の概要】

- ◆調査名：「2013年冬季、物価と消費に関するアンケート」
- ◆調査時期：2013年12月11日(水)～13日(金)の3日間
- ◆調査対象：滋賀銀行本支店にご来店の女性(県内在住者のみ)
- ◆有効回答数：679人 (うち29歳以下：128人、30歳代：104人、40歳代：186人、50歳代：157人、60歳以上：104人)

【調査結果の概要】

1. 定例項目

- ・現在の「暮らし向きDI」は-6.6で、前回(13年6月：-9.2)から+2.6ポイントと上昇。半年後は-23.2で、現状から-16.6ポイントと大幅に下落する見通し。
- ・現在の「世帯収入DI」は-13.9で、前回(-11.6)と比べて低下。半年後は-19.6で、現状から-5.7ポイント低下する見通し。
- ・現在の「物価DI」は+74.4で、前回(+56.1)から+18.3ポイントと大幅に上昇。半年後は+87.7で、現状から+13.3ポイントと上昇基調が続く見通し。
- ・「耐久消費財の買い時として、今と比べて今後半年間でどうなると思うか」については、「良くなる」が11.5%で、前回(100%)から1.5ポイント上昇。一方、「悪くなる」は49.3%で、前回(34.9%)から+14.4ポイントと大幅に上昇。厳しい状態が続く。

2. 特別項目～消費税率引き上げ前の駆け込み購入について～

- ・消費税率引き上げ前の駆け込み購入は、「家電製品」が3割を超え(30.8%)、「自動車」(18.1%)、「旅行・レジャー」(17.6%)と続いた。
- ・消費税率引き上げ後は、節約する項目として「外食費などの飲食費」(48.9%)、「衣料費」(43.9%)、「食料費」(40.7%)が上位を占めた。一方、「趣味・自己啓発費」(8.7%)、「住費」(5.2%)、「生保・損保等の保険料」(4.8%)、「保健・医療費」(2.6%)、「(子どもや孫の)教育費」(1.8%)は10%以下にとどまった。

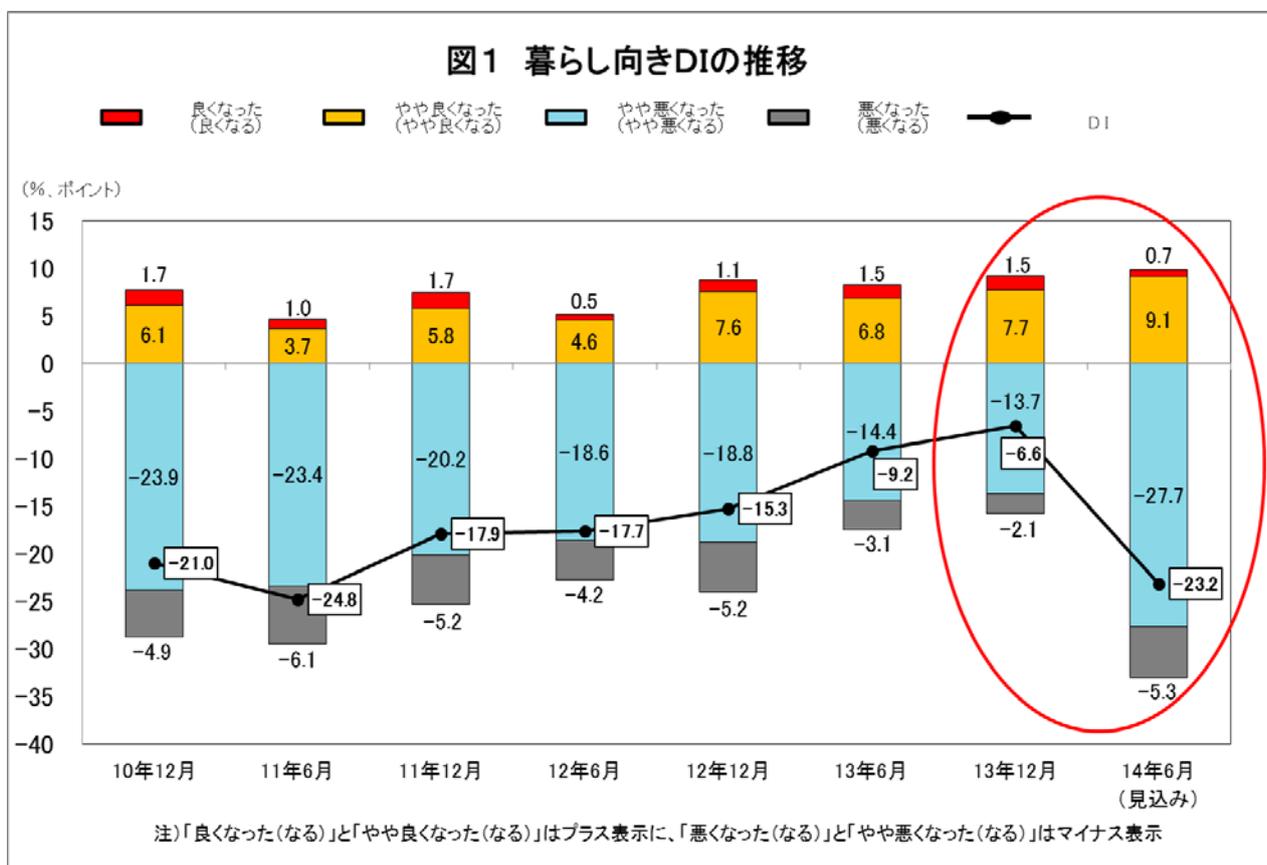
以上

1. 定例項目

◆【暮らし向きDI】…回復するも、半年後は悪化の見通し

現在の「暮らし向きDI」(「良くなった」「やや良くなった」と回答した割合から「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した割合を引いた値)は-6.6となり、前回(13年6月:-9.2)から2.6ポイント上昇した。「アベノミクス」効果による株価の上昇や消費マインドの回復などから、「暮らし向きDI」は上昇したとみられる。

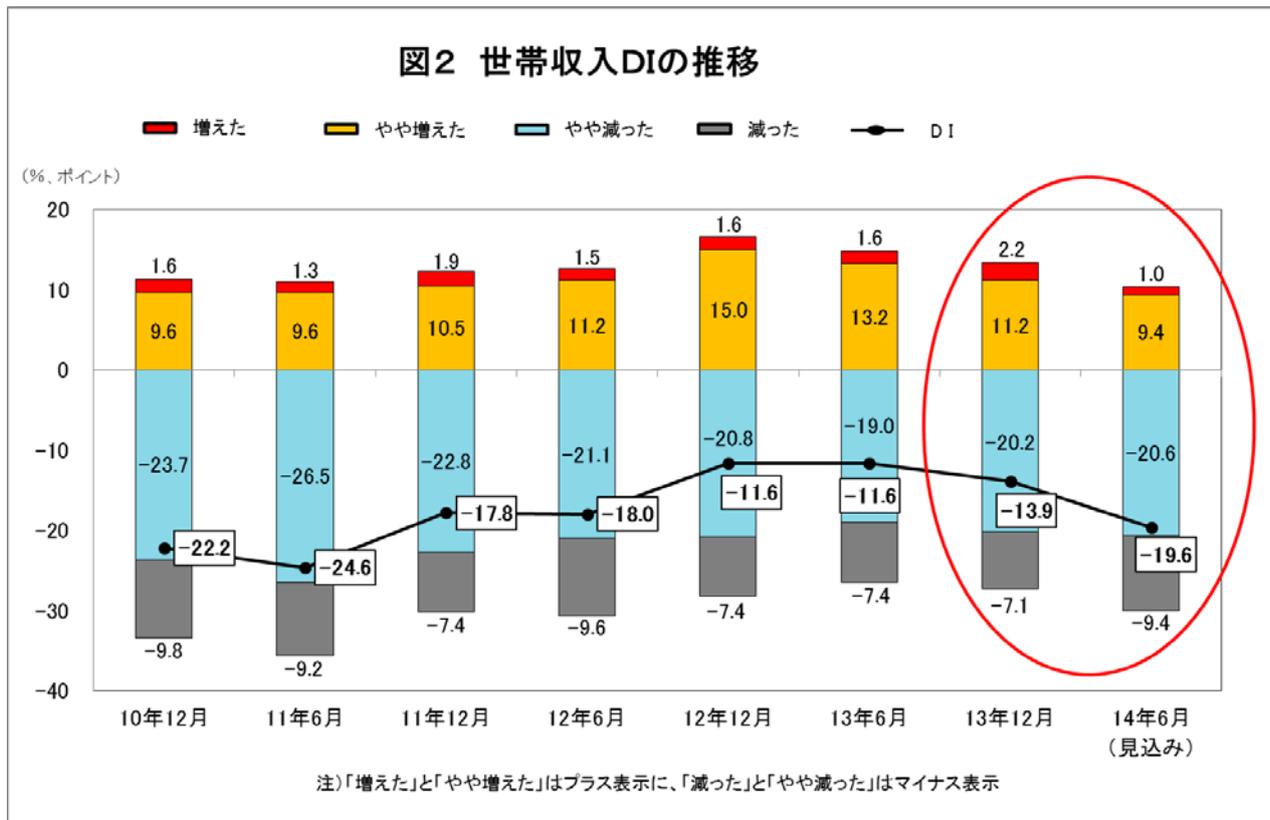
半年後については、「やや悪くなる」「悪くなる」と回答した割合が大幅に増え、「暮らし向きDI」(同上)は-23.2と、現状(-6.6)から16.6ポイント下落する見通しである。



◆【世帯収入DI】…減少、半年後はさらに悪化の見通し

現在の「世帯収入DI」(「増えた」「やや増えた」と回答した割合から「減った」「やや減った」と回答した割合を引いた値)は-13.9で、前回(13年6月:-11.6)から-2.3ポイント低下した。

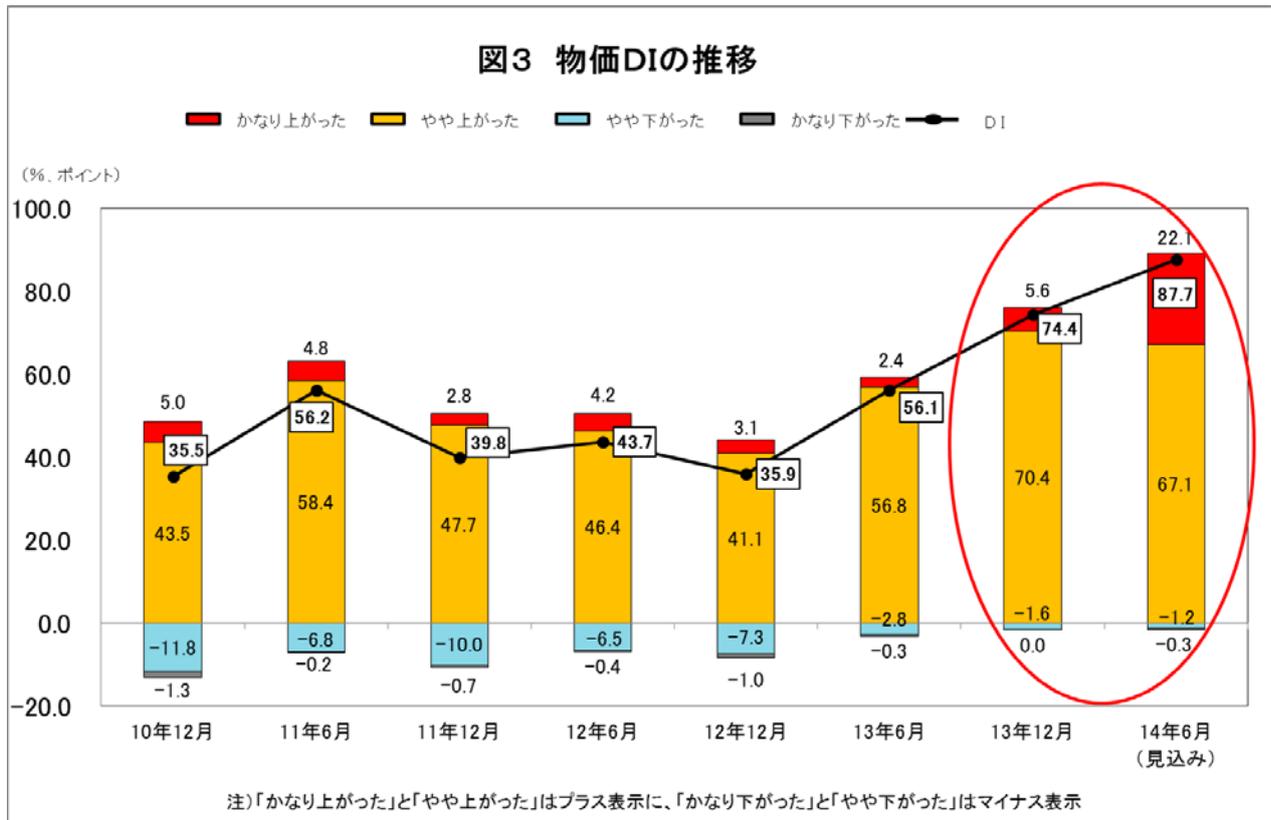
半年後の「世帯収入DI」(同上)は-19.6で、現状(-13.9)から-5.7ポイント低下する見通しである。今後も、厳しい所得環境が続くと見られる。



◆【物価DI】…物価は上昇、今後も上昇基調が続く見通し

現在の「物価DI」(「かなり上がった」「やや上がった」と回答した割合から「かなり下がった」「やや下がった」と回答した割合を引いた値)は+74.4となり、前回(13年6月:+56.1)から+18.3ポイントと大幅に上昇した。円安による輸入価格の上昇や、燃料・光熱費の上昇などから食料品や日用品などの値上げが続いている。

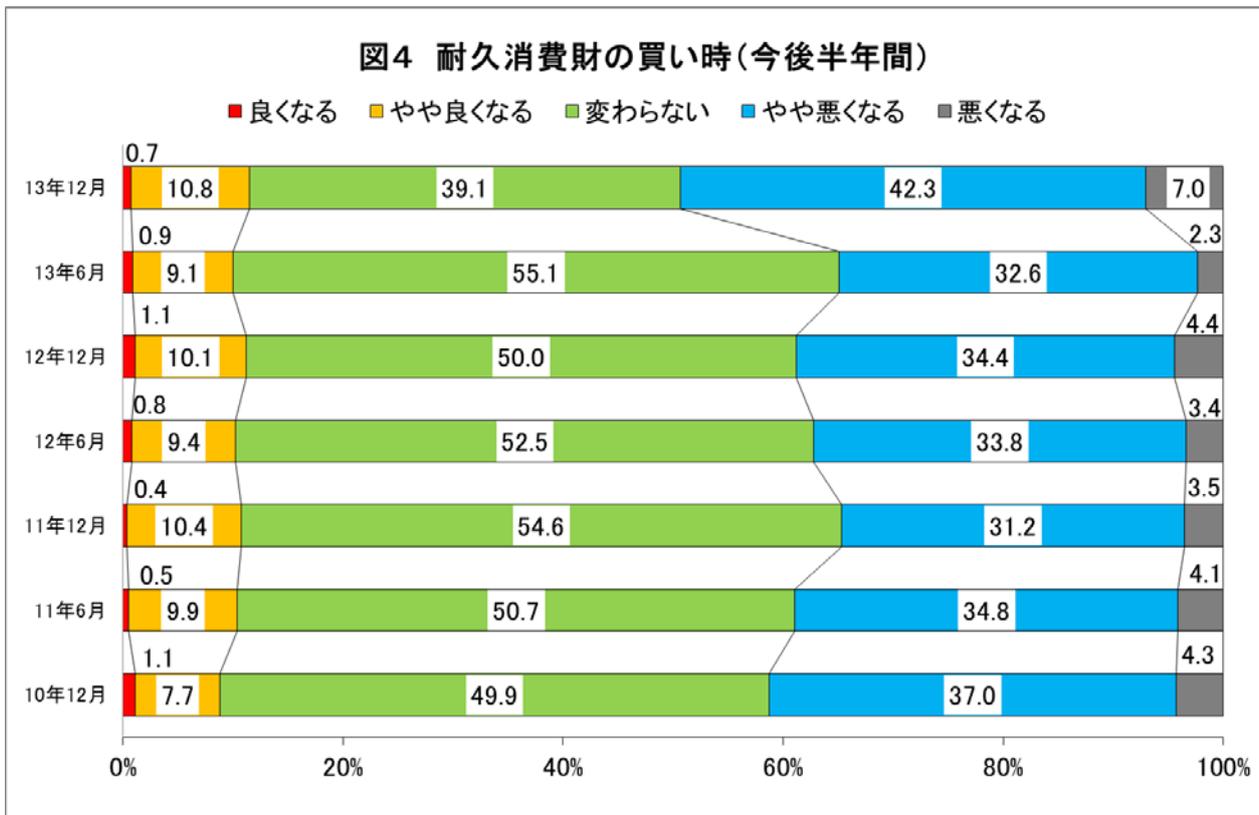
半年後の「物価DI」(同上)は+87.7で、現状(+74.4)から+13.3ポイントとさらに上昇する見通しである。



◆【耐久消費財の購入】…依然、厳しい状態が続く

「耐久消費財の買い時として、今と比べて今後半年間でどうなると思うか」については、「良くなる」と「やや良くなる」の合計が11.5%と、前回(13年6月:10.0%)から1.5ポイント上昇した。

一方、「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計は49.3%で、前回(34.9%)から+14.4ポイントと大幅に上昇した。4月に予定されている消費税率引き上げなどで、「悪くなる」「やや悪くなる」と回答した割合は約5割になり、依然、厳しい状態が続く。



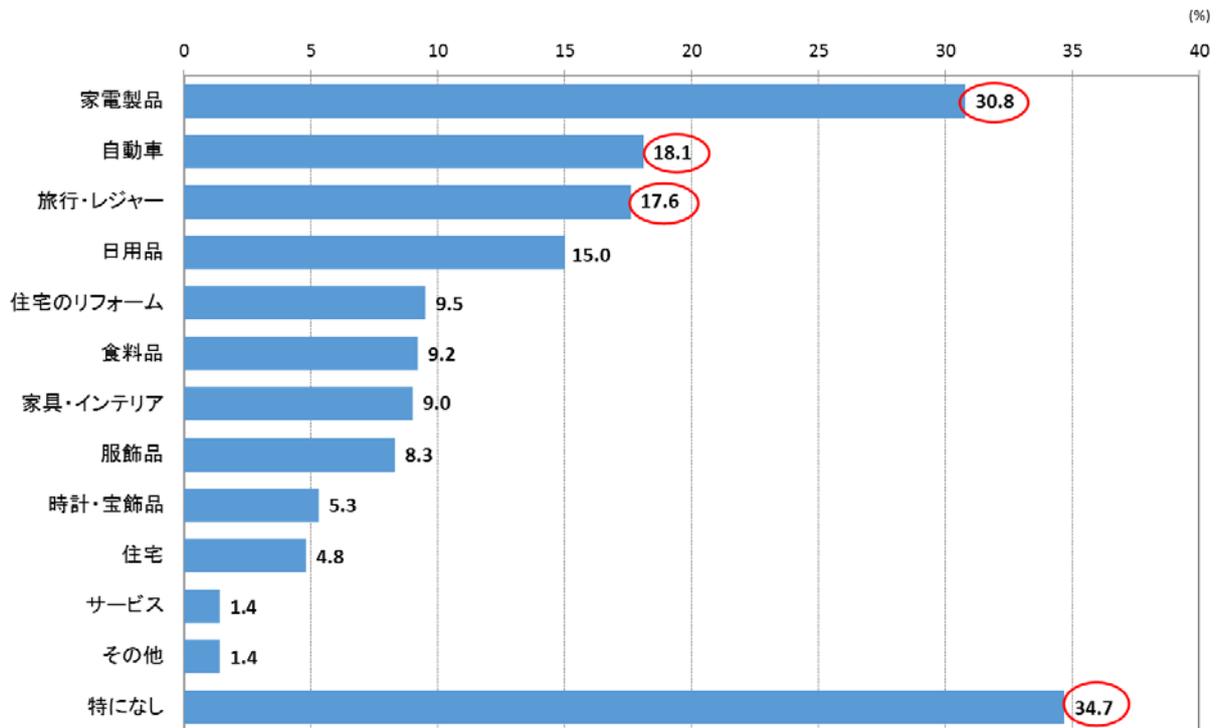
2. 特別項目～消費税率引き上げ前の駆け込み購入について～

◆消費税率引き上げ前の駆け込み購入は、3割が「家電製品」

「消費税率が8%に引き上げられる前に、購入する(した)もの」(複数回答)についてたずねたところ、「特になし」と回答した人が最も多いものの(34.7%)、「家電製品」が3割にのぼり(30.8%)、「自動車」(18.1%)、「旅行・レジャー」(17.6%)と続いた。増税前に家電製品の購入を考えている人は多いようだ。

また、購入物の中で、上位4項目の購入時期をみると、「家電製品」は2013年12月～14年1月と増税直前の3月に購入すると回答した人が多く、「自動車」は13年12月が多いものの14年1月以降に購入すると回答する人も多かった。「旅行・レジャー」は増税前の1月～3月が多く、「日用品」については買いだめの理由からか2月と3月に購入すると回答する人が多かった。

図5 消費税率引き上げ前に購入する(した)もの(複数回答)



購入時期 (上位4項目)

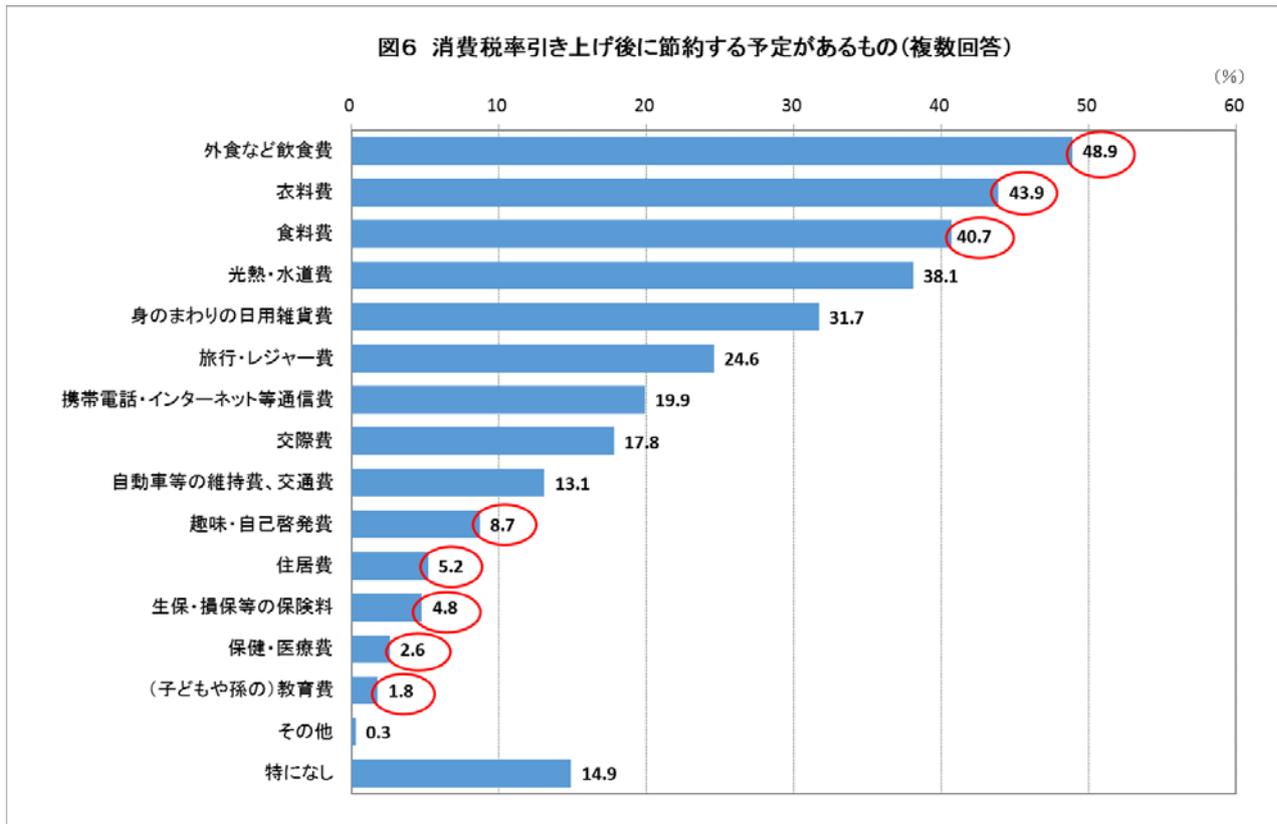
(単位:人)

	2013年12月	2014年1月	2月	3月	4月以降
家電製品	39	27	19	28	10
自動車	16	12	12	12	12
旅行・レジャー	11	19	20	18	9
日用品	15	8	22	44	3

◆消費税率引き上げ後は、「外食費」「衣料費」「食料費」を節約

「消費税が8%に引き上げられた後に、節約する予定があるもの」(複数回答)をたずねたところ、「外食など飲食費」が最も多く(48.9%)、次いで「衣料費」(43.9%)、「食料費」(40.7%)、「光熱・水道費」(38.1%)と続いた。外食費や衣料費といった“不要不急の費用”と、食料費や光熱・水道費といった“努力で節約できる費用”が上位項目を占めた。

一方、「趣味・自己啓発費(8.7%)」、「住居費」(5.2%)、「生保・損保等の保険料」(4.8%)、「保健・医療費」(2.6%)、「(子どもや孫の)教育費」(1.8%)は10%以下にとどまった。教育や健康、住居にかかわる支出額については、消費税率引き上げの影響は少ないようだ。



以上